

全体目標:運動器の疾患および傷害の多様性を学習し、代表的疾患および傷害についての病態、臨床所見、検査所見、治療的アプローチを理解し、初歩的な検査・手術手技を身につける。

個別目標:

- 1) 骨・関節・靭帯・筋・腱・脊髄・末梢神経の生理と損傷後の修復について説明できる。
- 2) 関節の正常可動域を覚え可動域所見を正確に記載できる。
- 3) 四肢骨・脊椎の変形について視診で指摘でき、X線学的に説明できる。
- 4) 骨折についてのX線診断を行える。
- 5) 膝内障の診察が行える。
- 6) 膝関節穿刺手技が行える。
- 7) ギプス固定とその除去が行える。
- 8) 頸髄症の診察手技を身につけカルテに記載できる。
- 9) 腰部疾患の診察手技を身につけカルテに記載できる。
- 10) 脊椎部のMRI検査の所見を説明できる。
- 11) 上肢の末梢神経傷害の症状を説明でき診断できる。
- 12) 変形性関節症と関節炎のX線上の差異を説明できる。
- 13) 変形性股関節症と大腿骨頭壊死症の病態を理解し、診察を行え、検査を解釈し、治療について説明できる。
- 14) 人工関節の適応について説明できる。
- 15) 良性骨腫瘍と悪性骨腫瘍の鑑別点を述べることができる。
- 16) 清潔操作を行うことができる。
- 17) 基本的な縫合術を行える。

方略:

病棟で5-10人程度の患者を受け持ち、上級医・指導医の指導のもと受け持ち医として主体的に診療する。

- ・ プレカンファ:週1回(月);新患受け持ち患者の診察・検査所見のプレゼンテーションのチェックを受け、をスタッフより学習内容の指導受ける
- ・ 教授回診:週1回(火);初診患者のプレゼンテーションを行い、受け持ち患者に関してプレゼンテーションを行う。
- ・ 抄読会:週1回;最新の整形外科ジャーナルの各論文抄録の報告を聞く。
- ・ X線カンファ:週5回;当日撮影された画像について、スタッフと一緒に読影する。
- ・MRI カンファ:月2回;運動器MRI画像の読影について、放射線ドクターとディスカッションする。
- ・リハビリカンファ:月2回;リハビリのスタッフと勉強会を行い、情報交換を行う。
- ・その他、地方会や研修会に積極的に参加する。

評価:

- ・EPOC IIによる評価を行う
- ・修了時に評価表(研修医の経験内容等に関する自己評価および整形外科の指導体制等に関する評価を記載)を提出。評価表は整形外科のスタッフ・シニア以上のレジデント、全てが共有する。
- ・ローテーション中に養成コース長による面接評価を行う。